



エコポスト

小田原市の環境を考えるための情報誌

vol. 78

酒匂川右岸(河口付近)で、清掃活動を実施しました！

環境ボランティア協会では、毎年秋に「酒匂川の河口をきれいにしよう！」を合言葉に地域の皆様と共同作業で清掃活動を行っています。48名以上の方にご協力いただき、清掃活動を実施することができました。

令和2年11月1日(日)に、酒匂川右岸(河口)清掃を小田原市環境ボランティア協会と地域の方々と一緒にごみ拾いを実施しました。

今年度については、大型の台風もなかったもので、流木などのごみは減少していたものの、プラスチックごみや空き缶等が多い印象で、45ℓ袋で5袋ほどの収集量でした。

この日は、ちょうど小田原市一斉清掃の日と重っており、ここに集合したメンバーの中には、早起きをして地元の清掃を行っていた人もいました。感想を聞いてみたところ「私の近所のポイ捨てごみは少なかったが、河口のごみの多さにはいつも驚いている。今後も機会を見つけ、マイクロプラスチックの抑制に向けて河口のごみ拾いをしたい。」と話されていました。

当日は、天候が薄曇りで寒くもなく、和気あいあいと事故もなく終了しました。今回はコロナ禍にも負けず48名にご参加いただき、山王小学校有志、白鷗中学校有志、小田原東高等学校有志、鈴廣かまぼこ有志等の団体にもご参加いただきました。

(高松 民吉)



酒匂川左岸シバザクラのマイ花壇補植に参加して。。

当日の、令和2年10月24日(土)は晴天に恵まれ、午前9時から10時まで1時間かけて、植栽地の除草及びシバザクラの植栽に40名程度参加し、小田原市環境ボランティア協会からは2名参加しました。市の環境政策課の職員の皆さんと一緒に楽しく活動しました。シバザクラが咲いている頃、酒匂川の小田原大橋から眺めると非常に綺麗で感激します。この活動を通して、多くの人達に小田原の素晴らしさを感じてもらえると嬉しいです。

(西島 摩瑛頭) (國島 明宏)



かんきょう伝言板

*****お知らせ*****

◇小田原市市制80周年記念被表彰者に当会の会長（西島 摩瑛顕氏）が決定されました。

多年にわたり、保健衛生の充実に尽力し、市の発展に寄与されたことで、感謝状が贈呈されました。

私が環境美化にたずさわって40年近くになります。昭和55年には新玉新道に30本ほどの木を植えていただき、沿道の皆様とともに草花を植え、水まき、清掃などを継続してきました。

20年ほど前からは小田原市全域の環境美化を心掛けており、ごみ拾いから落書き消しまで、様々な取組を行っています。

落書き消しは、放置すると犯罪が起きやすいといわれておりますので、落書きを見つけたらすぐに消しています。15年かけて16000個近く消しました。

身近なこと、誰にでもできることですが、継続して長年行動するには、皆様の励ましと協力が必要不可欠です。おかげさまで、数々の賞を頂戴いたしました。今後ともよろしくご協力のほどお願いいたします。

（西島 摩瑛顕）

*****イベントご案内*****

◇落書き消しのボランティアを募集します！

小田原市内において、15年前から落書き消しの活動をボランティアで実施しています。活動を開始してから、徐々に落書きの数も減ってきてはいますが、まだ歩道橋やガードレールなど目に付くところに落書きがされてしまいます。

そこで毎月の活動（不定期）に、ぜひご参加いただける方を募集します。みんなの手で小田原のまちを落書きが一つもない綺麗なまちにすることを目標に活動してみませんか。

実施日や活動の内容等につきましては、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

- 【持ち物】 汚れてもよい服装・軍手
- 【連絡】 小田原市環境ボランティア協会
西島 (23-3740)
- 【実績】 市内全域 約1,600箇所

*****小田原市からのご案内*****

◇食品ロス削減のため

「おいしく残さず食べきろう！」

食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」が全国で年間約612万トンも発生しています。

外出自粛の中、家で料理することが増えていると思います。ご家庭で出来ることを実践することで食品ロス削減へぜひご協力ください。

・計画的な買い物

安いからなどの理由で必要以上に食材を買いこむと、使い切れないことがあるため、特に、傷みやすい食材は、計画的な買い物をすることを心掛けましょう。

・食材の在庫管理

普段からこまめに家庭内の食品の在庫や消費期限・賞味期限を確認しましょう。消費期限・賞味期限切れにならないように、食材の保存方法を工夫しましょう。

・使い切り

野菜の皮や茎も料理に取り入れるなど、食べられる部分は使い切りましょう。結果、食材の栄養も余すことなくとれます。

・食べきり

食べ残しを減らすために、料理は食べられる量だけ作り、余った料理はアレンジしたり、小分けにして冷凍庫で保存するなど、食べきる工夫をしましょう。

【担当】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)

◇生ごみ堆肥化推進事業 新規参加者募集

市内在住の方で、ご家庭で段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化に取り組める方を募集します。無料で一式配布します。（現在既に実施している方には交換基材を有料にてお渡しできます。）詳細については、下記までお問い合わせください。

【連絡】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)
小田原(いき)ごみクラブ代表 浜野 (090-5781-0788)

イベントや活動紹介などの掲載をご希望の方は、事務局 (33-1472) までご連絡ください。

(常時原稿募集中)

【発行日】 2021年5月20日

【発行責任者】 小田原市環境ボランティア協会 会長 西島摩瑛顕

【事務局】 小田原市環境部環境政策課